

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		安全面を考え、自身で動く利用児と動きが少ない利用児のスペースを分けて確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		活動時、トイレ介助時など、個々の利用児に必要な人員を配置するようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設は全面バリアフリーとし、フロア全体が見渡せ、目も声も届きやすいようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		課題が見えた時に、個々の職員が改善案を考え発信するようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		近くにある重心児の施設の職員と、互いの施設を見学交流など行い、改善に繋げた。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月職員会議の際に、研修の場を設けている。職員がローテーションしながら、専門分野で講師を務めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		新規での利用児については、各専門スタッフ（児童発達支援管理責任者、保育士、看護師、機能訓練士）がそれぞれの専門分野でアセスメントを行い、支援員も共有して全体で計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	現在、自施設では必要としていない。

	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育士、児童指導員が中心となり、利用児に合った活動を立案しているが、学年により利用児の下校時間が異なるため来所時間に差があり、集団療育は難しい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期曜日で利用している利用児が、重複しないように考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	長期休みは児童発達支援の利用児と同じ活動になってしまうことがある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動が必要な利用児さんが多いため、過ごし方の個別性を重視している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員全員で内容を共有できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを記入し、職員全員で内容を共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を共有するようにしている。検証・改善点が急を要する場合はその場で、そうでない場合は毎月のケース会議で取り上げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		利用児や保護者のニーズに沿ってできているか、支援者目線になってしまっていないかが不安になる時もあるので更なる共通理解が必要。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と、利用児を担当している職員が参画する形にしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	学校によっては、学校の情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）は直接デイサービスへできないというところがある。全て保護者から聞いてくださいというスタイルなので、情報が混乱してしまうことがあった。県立なので統一できるとよい。

携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		必要時、連絡を取り指示を仰いでいる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援も併設しているので、継続して利用してもらえていてありがたい。また他事業所との情報共有も継続できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	そのケースがない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		現場の業務に差し支えないもので参加している。オンラインでいつでも見れる研修はとても参加しやすい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	特色として、そのような機会を持ちにくい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	そのような機会がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートやLINEメッセージ、電話、送迎時に、随時お互いに子どもたちの様子を伝え合える関係性を築いていると認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現在、ペアレント・トレーニングを必要とする利用児がいない。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にチェック表を用いて、伝え忘れがないように行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日頃から、世間話も含め、保護者との会話を大切にしている。その中で、利用児さんの話もしながら、お互いに意見を出し合い、日々の様子で気になる点があればすぐに伝えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		夏祭りを行い、親子で参加して頂くことで、保護者が集まれる場を設けることが出来た。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	まだ苦情があったことがないが、迅速に可能な限り対応していく。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		SNSを利用しながら活動内容や中の様子が伝わるようしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		利用児さんの日中の様子を、写真や動画で撮影し、保護者に送っている。背景に個人情報が移り込まないように気を付けている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	そのような機会がない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		秋に、事業所利用児の引き渡し訓練を実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員研修の中で、年に1回以上行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、対象となる利用児がいないため該当するケースがないが、あれば行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		重大と感じる事例については会議にあげ、全体で対策を再考案して対応している。